

自然史しずおか祭 2024

横山謙二

ふじミューの秋イベントとして、10月12～27日にかけて、今年で8回目となる『自然史しずおか祭 2024』を開催しました。今年も、地質・昆虫・植物などの23テーマの発表がありました。

この自然史しずおか祭にあたって、私はひどい腰痛に悩まされていたり、ポスターの印刷前に、大型プリンターが故障してしまうなど、アクシデントがありましたが、多くの人の協力のもと、何とか開催にこぎつけることができました。

発表は、NPO関係者やふじミューの研究者、サポーターが主体ですが、その他、静岡大学理学部や静岡県立田方農業高等学校の学生などの参加もありました。

最終日27日のコアタイムでは、発表者の皆さんが集まり、互いの発表を聞き、さまざまな

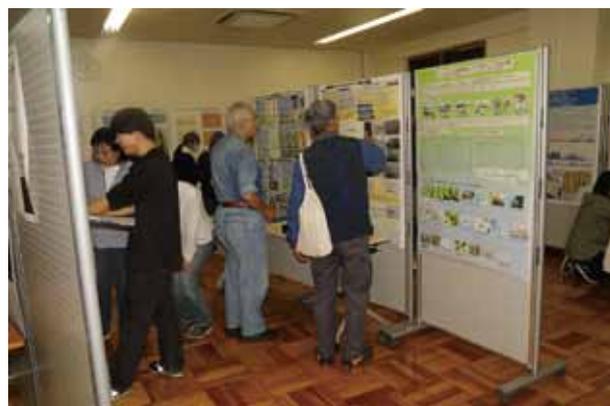
研究の理解を深めることができました。

今回の優秀賞は、静岡大学理学部 木戸 雅さんの『掛川市小笠山のフロア調査』、県立田方農業高等学校の熊切優那さん、鈴木那奈さん、森 彩花さん、榊原 学教諭の『絶滅危惧植物並びに静岡県在来作物の保全に関する研究』、ミュージアムサポーターの駿河一郎さんの『水分の多い植物の乾燥標本の作り方』が受賞しました。この中でも、駿河一郎さんは、この自然史しずおか祭に8年連続で参加していただいた中で、今回が初受賞となりました。

自然史しずおか祭は、学校などで行う『文化祭』をイメージして提案したイベントです。学生時代のようにミュージアムの人たちが一丸となって、楽しめるイベントにしていきたいと思っています。



田方農業高等学校の生徒さんが発表している様子



いろいろな研究の説明を聞き合う



静岡大学生の説明を聞く様子



優秀賞授賞式の様子